

はじめに

まずは、2021年度の活動報告をこのような形で報告できることに感謝をしたいと思います。なぜなら2020年1月の新型コロナウイルス感染症の拡大以降、当連絡会として2020年度は実質の活動休止となっていたからです。運営委員メンバーで会議は重ねておりましたが、感染の波の浮き沈みもある中、活動を再開できずに悶々と過ごしていた1年でした。

しかし2021年度は、5月の介護報酬改定ポイントのオンライン研修を幕開けに、2020年3月に予定していたものの開催できなかったオープンデスクカンファレンスの実施、診療報酬改定のポイント、と年3回の定例会を開催することができました。またオンラインながら、感想や近況報告など小グループでの意見交換もでき、参加者の盛り上がりを感じられたのはとても嬉しいことでした。

さて、当会の目的は以下の3点です。

- 在宅ケアに関わる多職種や関係者と顔の見える関係をつくる
- 在宅ケア推進にあたり、関係者・住民の知識の増進をはかり、相談できる場をつくる
- 在宅ケアを広め、住民のニーズをくみ取る場をつくる

会の発足以来大事にしてきたのは、“在宅ケア”という共通のテーマのもと、人と人のつながりを底力に専門性を活かしながら連携を深めることで、一人の専門職ではカバーしきれない在宅での課題を、多職種のチームとして取り組めるようになることです。そして今年度は、“オンライン”という人と人がつながる新しい場を作ることができました。それぞれの忙しい業務の中で集まる上では、職場や自宅から繋ぐことができるオンラインの強みも生かしつつ、この地域で在宅ケアを支える面を広げていきたいと思っています。

一方で、住民向けに行ってきた商業施設での市民フォーラムは、まだ開催が難しい状況にあります。こちらについても知恵を絞りながら、ウィズコロナ社会の中で発信を模索していきたいと思っています。

最後に運営メンバー・幹事・事務局の皆さん、そして何より当会の活動に参加いただいている皆さん、1年間どうもありがとうございました。オンラインはもちろんです、早く直接お会いして相談や交流ができる日を心待ちにしております。

西いぶり在宅ケア連絡会
会長 佐藤弘太郎

月	形式(参加実績)	テーマ・内容
5月	講演 (48名) Zoom開催 ※1	「 介護報酬改定のポイント 」 皆様、お久しぶりです。2020年1月以来、定例会を開催できず…(涙)。コロナ対応など各職場で日夜、奮闘されていることかと存じます。さて新年度、オンラインにて定例会を再開いたします！！Zoomを使っての定例会となりますが、初めての試みなので何かとうまくいかない所もあるとは思いますが、是非ご参加ください。オンライン研修が初めての方歓迎です！初めての方も自宅や職場等から気軽に参加してみましよう！Zoomの使い方についても参加者にメールでお知らせ致します！
10月	事例共有カンファレンス (59名) Zoom開催 ※2	「 オープンデスカンファレンス 」 コロナ禍の中、病院での家族との面会制限等により最期を自宅で過ごす選択をするケースが増えています。今回はそんな中、病院-在宅のスムーズな連携により自宅で家族とかけがえのない時を過ごすことができたAさんの事例を振り返ります。多職種がどのような想いでAさんと関わったのか、また病院でのがん治療、緩和ケア 亡くなった後のケア、退院時のサービスについても解説予定です。デスカンファレンスに参加したことがない方も、気兼ねなく是非、ご参加ください。
3月	講演 (37名) Zoom開催 ※1	「 令和4年診療報酬改定のポイント 」 今年が診療報酬改定の年！今回は4月に行われる診療報酬改定について、昨年の定例会にお越しいただいた北海道医療情報サービスの寺田様をお呼びしてご講演いただきます。また、講演の後は、「このコロナ禍で他事業所の方とかなかお話しする機会がない！」というお声を頂いたので、いくつかのグループに参加者を分けて、近況を語り合う場として活用いただこうと思っております。職種などを考慮したグループ分けと致しますので、ぜひ最後までご参加ください！

※1 講師:北海道医療情報サービス 寺田 洋樹 様

※2 主催:西いぶり在宅ケア連絡会 共催:社会医療法人母恋 日鋼記念病院

令和3年度 定例会 職種別 参加者数

※事前申込者ベース

ラベル	職種	5月	10月	3月	延べ
1	①. 医師	0	4	3	7
2	②. 歯科医師	0			0
3	③. 保健師	1	3		4
4	④. 看護師	3	13	4	20
5	⑤. ケアマネジャー	13	10		23
6	⑥. 社会福祉士	6	5	2	13
7	⑦. 栄養士	1	2	1	4
8	⑧. PT	3	2	4	9
9	⑨. OT	2	2	5	9
10	⑩. ST				0
11	⑪. MSW	6	1	2	9
12	⑫. PSW	1	3	2	6
13	⑬. 薬剤師	10	8	9	27
14	⑭. 歯科衛生士	0	1		1
15	⑮. 介護福祉士	1	1		2
16	⑯. ヘルパー	0			0
17	⑰. 生活相談員	0	2		2
18	⑱. 柔道整復師	0	0		0
19	⑲. 福祉用具	0	0		0
20	⑳. 医事関係者	0	0	4	4
21	㉑. その他()	1	2	1	4
合計		48	59	37	144

第69回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ「介護報酬改定ポイントについて」

～帰ってきたケア連絡会～

日時：5月10日(月) 18:30～20:30

開催方法：オンライン型研修(Zoomにてリモート開催)

参加申込：URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、申し込み。(別紙参照)

参加費：無料 ※先着80名までとなります



<内容>

18:30～18:40 開会：会長あいさつ、講師紹介

18:40～19:40 講演「介護報酬改定のポイント」

北海道医療情報サービス 寺田 洋樹 様

19:40～19:50 休憩

19:50～20:10 ブレイクアウトセッション

20:10～20:25 共有

20:25～20:30 まとめ：アンケート 閉会



 西いぶり在宅ケア連絡会

今月のポイント！

皆様、お久しぶりです。2020年1月以来、定例会を開催できず…(涙)。コロナ対応など各職場で日夜、奮闘されていることかと存じます。さて新年度、オンラインにて定例会を再開いたします！！Zoomを使つての定例会となりますが、初めての試みなので何かとうまくいかない所もあるとは思いますが、是非ご参加ください。

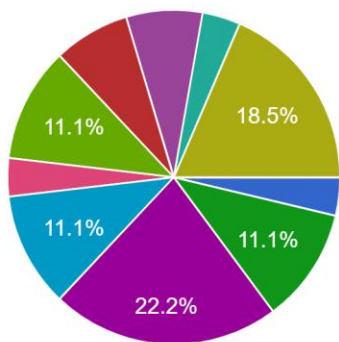
オンライン研修が初めてな方歓迎です！初めての方も自宅や職場等から気軽に参加してみましよう！Zoomの使い方についても参加者にメールでお知らせ致します！

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、北海道社会福祉士会日胆地区支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

職種を教えてください。

27件の回答



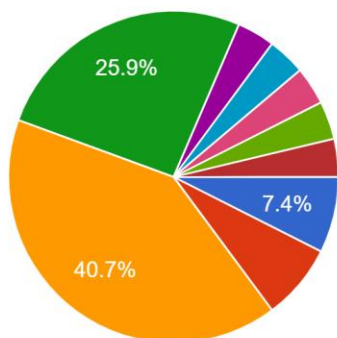
- ① 医師
- ② 歯科医師
- ③ 保健師
- ④ 看護師
- ⑤ ケアマネジャー
- ⑥ 社会福祉士
- ⑦ 栄養士
- ⑧ PT

▲ 1/3 ▼

ケアマネジャー	6
薬剤師	5
看護師	3
社会福祉士	3
PT	3
OT	2
MSW	2
医師	1
PSW	1
栄養士	1

今回の研修会をどのように知りましたか？

27件の回答

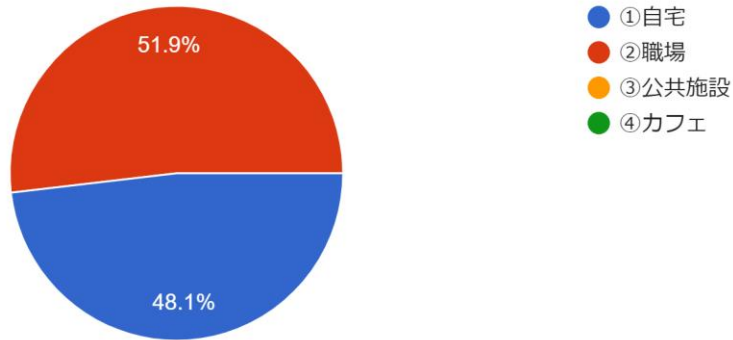


- ① 病院・施設・事業所の広報ポスター
- ② 知人・友人
- ③ 職場
- ④ 所属している職能団体からの連絡
- ⑤ 介護新聞
- ⑥ 運営委員です
- ⑦ 西いぶり在宅ケア連絡会のチラシ
- ⑧ 訪問リハ連絡会からの研修会の案内メール
- ⑨ ホームページから

職場	11	知人友人	2
職能団体から	7	その他	5
広報ポスター	2		

今回の研修会にはどこで視聴(参加)しましたか？

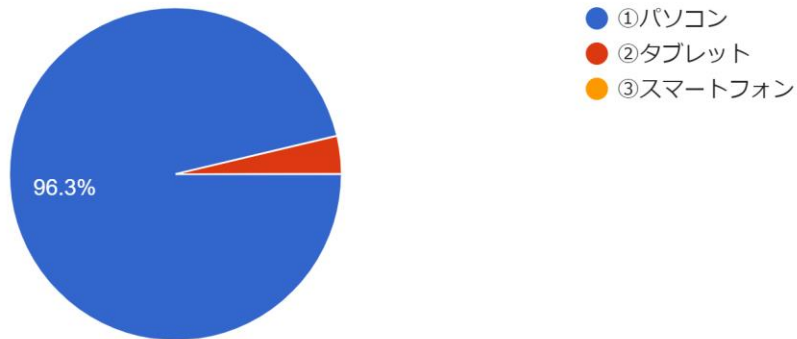
27件の回答



職場	14
自宅	13

どのようなデバイス(器機)を使用して参加しましたか？

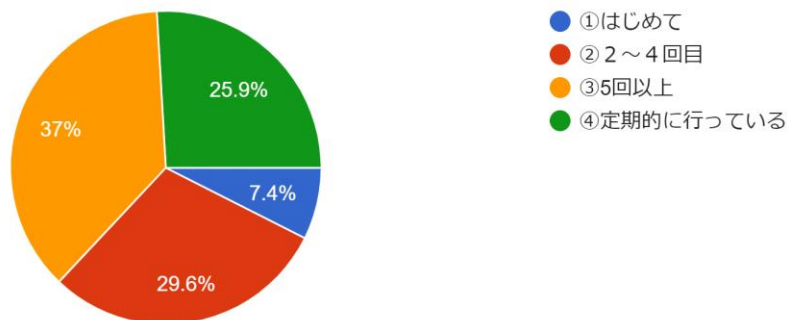
27件の回答



パソコン	26
タブレット	1

オンライン研修・会議等への参加経験はありますか？

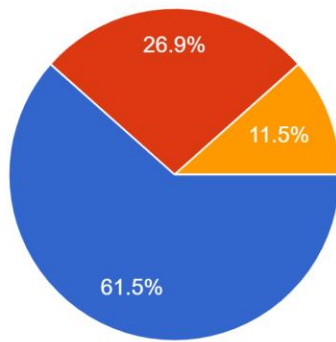
27件の回答



5回以上	10
2～4回	8
定期的に行っている	7
はじめて	2

研修会の内容について理解できましたか？

26 件の回答

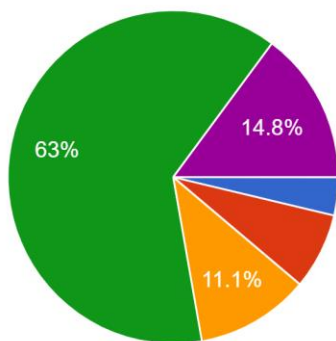


- ①よく理解出来た
- ②理解出来た
- ③あまり理解出来なかった
- ④理解出来なかった
- ⑤どちらとも言えない

よく理解できた	16
理解できた	7
あまり理解できなかった	3

研修会の時間帯について希望する時間帯を下記からお選びください。

27 件の回答

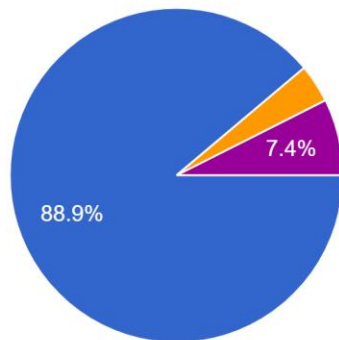


- ①17時～
- ②17時30分～
- ③18時～
- ④18時30分～
- ⑤19時～

18時30分～	17
19時～	4
18時～	3
17時30分～	2
17時～	1

オンライン研修会の参加しやすさについて伺います。(通常の研修と比べて)

27件の回答

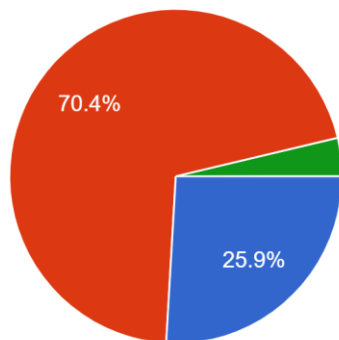


- ①参加しやすい
- ②参加しにくい
- ③どちらも参加しやすい
- ④どちらも参加しにくい
- ⑤どちらとも言えない

参加しやすい	24
どちらとも言えない	2
どちらも参加しやすい	1

周囲の方の状況についてお伺いします。周囲の方もオンライン研修に対応できそうですか？

27件の回答



- ①対応出来る人が多い
- ②ある程度の人是对応出来ている
- ③ほとんどが対応出来ていない
- ④よく分からない

ある程度の人是对応できている	19
対応できる人が多い	7
よくわからない	1

【担当幹事】 篠原 歩

【今回の目的】

コロナ禍により、西いぶり在宅ケア連絡会が2021年1月以来休止状態となっていましたが、この度、「帰ってきたケア連絡会！～介護報酬改定ポイント」～と題して、Zoomを使用した初めてのオンライン研修の開催を試みる事としました。コロナ禍でも顔の見える関係作りや研鑽が持続できるよう、主催者・参加者が共にオンライン研修を経験し慣れてもらう事を目的としております。

講師には、北海道医療情報サービスの寺田様をお招きして、4月に行われた介護報酬改定のポイントについてご講演いただきました。その後は、Zoomにてグループ分けを行い、グループごとでブレイクアウトセッションを行い、介護報酬改定に関する共有を行うなど、オンラインでのグループワークも企画しました。

【タイムライン】

令和3年5月10日（月）

18：30～18：40 開会・会長挨拶、講師紹介

18：40～19：40 講演「介護報酬改定のポイント」

北海道医療情報サービス 寺田 洋樹 様

19：40～19：50 休憩

19：50～20：10 ブレイクアウトセッション

20：10～20：25 共有

20：25～20：30 まとめ：アンケート 閉会

【参加者からの声】

研修内容については、約9割の方々より理解できたとの回答を得ました。また、ブレイクアウトセッションでは、各グループで盛り上がりのある話し合いが行えておりました。参加者からは「オンラインでも十分な顔の見える連携が行えた」、「かえって顔が良く見えた」と言った意見もありました。

今回は、初めてのオンライン研修ということもあって、参加者からの声というよりは、オンラインをどのような形で視聴したか、どのようなデバイスを使用したか、オンライン研修の参加経験、研修会の時間帯やオンラインの参加のしやすさ等についてアンケートを行い、コロナ禍における今後のオンライン研修の継続がケア連絡会でも可能かどうか確認しました。結果としては、オンラ

インでの研修は問題なく行えましたので、年度内に再度オンラインで研修を企画していくこととしました。

【報告者からのまとめ】

参加者は41名で、初のオンライン開催にも関わらず多くの方々に参加いただきました。講師にはとても分かりやすく説明いただき、ブレイクアウトセッションも大変盛り上がり、とても実のある研修となりました。初めてのZoomでのオンライン研修だったため、事務局においても不慣れなところがありましたが、大きな問題もなく無事に終わることができました。今後もオンラインでの研修は問題なさそうなので、今後の活動にも活かしていきたいと思えます。

第70回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ 「オープンデスカンファレンス」

～40代女性Aさんの事例を通して連携の大切さを学ぶ～

日時：10月26日(火) 18:30～20:30

開催方法：オンライン型研修(Zoomにてリモート開催)

参加申込：URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、申し込み。(別紙参照)

参加費：500円 ※定員に達した場合参加できない場合があります。

<内容>

18:30～18:40 開会：会長挨拶、趣旨説明

18:40～20:10 症例提示、ミニレクチャー

20:10～20:20 質疑応答

20:20～20:30 シンポジスト感想 閉会挨拶



今月のポイント！

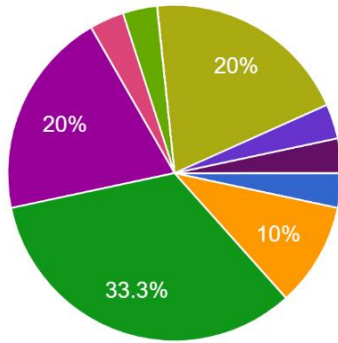
コロナ禍の中、病院での家族との面会制限等により最期を自宅で過ごす選択をするケースが増えています。今回はそんな中、病院-在宅のスムーズな連携により自宅で家族とかけがえのない時を過ごすことができたAさんの事例を振り返ります。多職種がどのような想いでAさんと関わったのか、また病院でのがん治療、緩和ケア亡くなった後のケア、退院時のサービスについても解説予定です。デスカンファレンスに参加したことがない方も、気兼ねなく是非、ご参加ください。

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

①職種を教えてください。

30件の回答



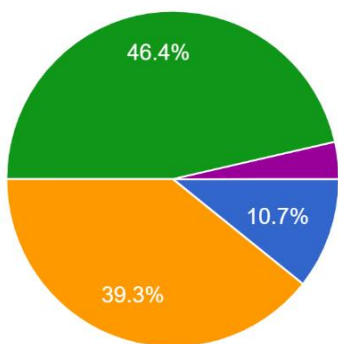
- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

看護師	10
ケアマネジャー	6
薬剤師	6
保健師	3
医師	1
生活相談員	1
歯科衛生士	1
PT	1
栄養士	1

②今回の研修会をどのように知りましたか？

28件の回答

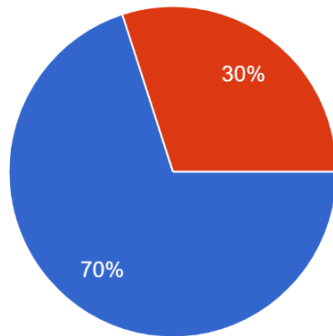


- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤幹事

職能団体から	13
職場	11
広報ポスター	3
その他	1

③今回の研修会にはどこで視聴(参加)しましたか？

30件の回答

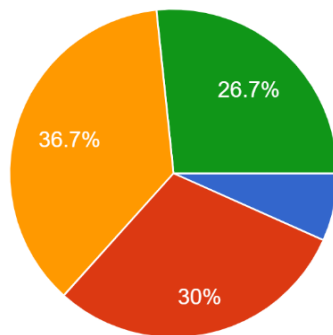


- ①自宅
- ②職場
- ③公共施設

自宅	21
職場	9

④オンライン研修・会議等への参加経験はありますか？

30件の回答

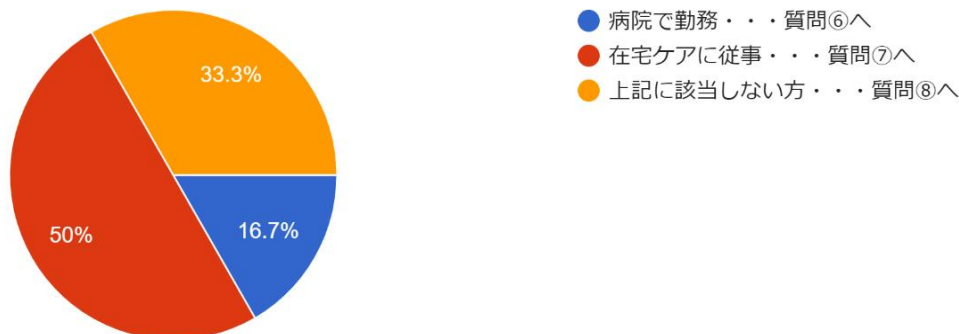


- ①はじめて
- ②2~4回目
- ③5回以上
- ④定期的に行っている

5回以上	11
2~4回	9
定期的に行っている	8
はじめて	2

⑤あなたは主として、病院で勤務していますか、それとも在宅ケアに従事していますか？

30件の回答



在宅ケアに従事	15
病院勤務	5
上記該当なし	10

⑥ ⑤で「1. 病院で勤務」とお答えになった方へお聞きします。在宅側の経過を聞いてどのようなことを感じましたか？(自由記載)

- ・在宅看取りについて考える機会となった
- ・緊急時の対応の多さにびっくりしました。患者・家族への寄り添ったケアが素晴らしかった。
- ・連携の大切さ、チームワークの重要性を感じた。
- ・退院後の経過を知る機会が今まではなかったのでどのような経過を辿ったのかどのように思いながら毎日過ごしていたのかを知ることができてよい学びになりました。
- ・在宅では医師、訪問看護が協働して関わっていることが伝わった。訪問看護師から、在宅で患者を一番に支えているのは家族であるとメッセージがあり、その家族を支える重要性を感じた。今回提示された内容のほかに在宅で可能な医療をもっと周知する機会があれば良いと感じました。(高カロリー輸液の可否、輸血や胸水・腹水穿刺は可能なのかなど)

⑦ ⑤で「2. 在宅ケアに従事」とお答えになった方へお聞きします。病院側の経過を聞いてどのようなことを感じましたか？(自由記載)

- ・早期に連携をとる必要の重要性を実感しました。また、病院に戻ることができる選択肢があるということは患者やその家族にとって安心につながると感じました。
- ・終末期の大事な時期に、コロナ禍で面会ができないだけでなく、医療者が家族と対面し反応を確認しながら話すことができないのはとても大変なことだと思いました

⑦ ⑤で「2. 在宅ケアに従事」とお答えになった方へお聞きします。病院側の経過を聞いてどのようなことを感じましたか?(自由記載)

- ・在宅の視点、本人の意向を本当に尊重し対応してくださっていることを改めて感じる事が出来た。また退院時期など繊細にその人の環境まで検討し対応してくださっている対応がわかり在宅支援者側としてありがたかった。
- ・かなり短期間の間に状態の変動もあり対応に苦慮したのが痛感しました。しかも、コロナ禍という特殊な状況の中、本人の意向に寄り添った決断ができたのには感動しました。
- ・自宅に帰してあげたい、家族と一緒に時間を過ごしたい思いを叶えたい、沿いたいとの思いを医師、病棟看護師、在宅支援看護師が同じ方向を向いて連携を取る事の大切さを感じた。患者さんにご家族さんの思いに沿う姿勢が患者さんにご家族さんに伝わり、信頼関係ができたのだな。と感じた。
- ・病院は堅いイメージで今回の事例のように患者の気持ちを優先してくれるとは思っていなかった。
- ・命が大事だから再優先に治療を考えると聞いていたのでとても感動しました。患者の一人ではなく一人の人間としてかかわってくれていると感じられました。
- ・とても頼もしく感じ、連携させて頂きたいと考えました。
- ・家に戻す時期の決断が決めてだと感じました。病気が急速に進行していて、痛みも常時あるので、癌の種類でも進行性のものなのかとても怖くなりました。

⑧ ⑤で「3. どちらにも該当しない方」とお答えになった方へお聞きします。それぞれの経過を聞いてどのようなことを感じましたか?(自由記載)

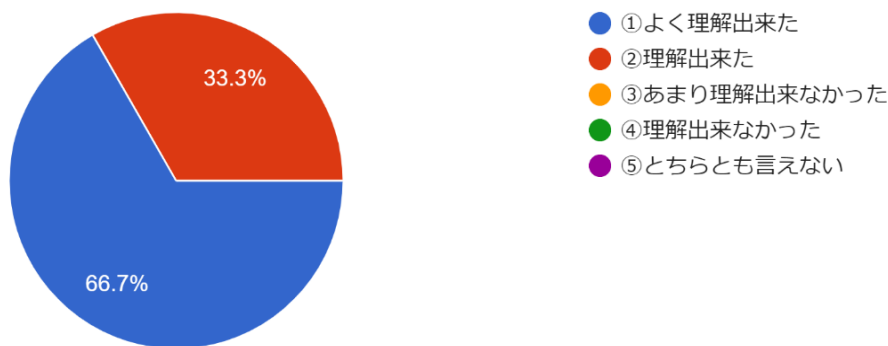
- ・そこへ勤務しなければわからない状況等が伝わってきました。
- ・今の所、業務で終末期に関わる事はあまり無いのですが、自分が薬剤師として何が出来るのかと考えさせられました
- ・患者の経過により迅速な対応で亡くなるまで日数が短い中、患者の希望を叶えることができ、患者さんも最期は幸せだったのではないかなと思いました。
- ・薬局の薬剤師として在宅も行っていますが、このような場合にどのように関わられるか考えてしまいました。
- ・それぞれの患者さんに対する思いが感じられましたし、退院、在宅、その後のケアも素晴らしく、患者様も良い最後が迎えられるのではないかと思います。

⑧ ⑤で「3. どちらにも該当しない方」とお答えになった方へお聞きします。それぞれの経過を聞いてどのようなことを感じましたか?(自由記載)

- ・自分の職種ではなかなか携わる事はないので、病院から在宅への移行の流れや連携など、とても興味深かった
- ・本人はもちろんですが、家族への支援も丁寧になされていると感じました。命を預かる仕事に従事している医療機関の方々の様々な配慮を知ることができ、非常に勉強になりました。
- ・とても学びが多かったです。在宅ケアに必要な場合は栄養ケアの介入ができるようにしたいと思います。
- ・地域包括支援センターで看護師として働いていますが、今回の経過を聞いて介護保険が利用していないため医療感が強い印象です。

⑨ 今回のデスカンファレンスの内容はいかがでしたか？

30件の回答



よく理解できた	20
理解できた	10

⑩ 今日のオープンデスカンファレンスに参加して明日からの仕事に生かせそうな点 参考になった点などあれば教えてください。

- ・院内での状況が少しわかりました。
- ・現在在宅生活をしている方でがんを患っている方を担当しています。今後の本人やご家族の想いに寄り添い、皆が満足できる生活をしていただける支援の学びとなりました。まだまだ経験が浅く色々な人からお話を聞いてスキルアップできればと思いました
- ・患者様・ご家族への関わり方 多職種連携する際の信頼関係大切さ

⑩今日のオープンデスクカンファレンスに参加して明日からの仕事に生かせそうな点 参考になった点などあれば教えてください。

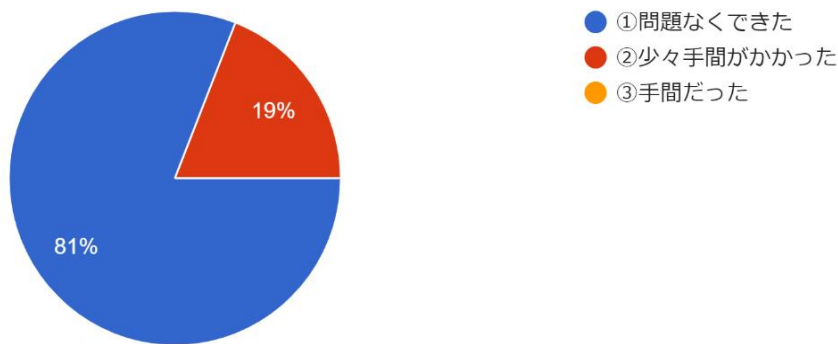
- ・後悔のない治療の促しのためにも「話し合うこと、またはそのプロセスが重要」という本輪西FC安達医師の言葉が印象に残っています。今後も本人、家族の話を聴き、その上で医師やケアマネなどの多職種と連携し、後悔がない選択を考えることができるよう、支援していきたいと強く思いました。
- ・患者中心に考え、同じ目的に向かって協力することが大事
- ・多職種連携が必要と言われ日々頑張っているが、相手に信頼してもらえらる仕事の姿勢や相手を信頼し困ったときは素直に助けが言える関係づくりを継続していきたい。今まで同様利用者の家族にも目を向けて支援をしていきたいと感じた。
- ・患者様の身になって対応したいと思います
- ・チームでのかかわり方、寄り添い方を学びました。
- ・様々な場面の中で、自分の職種でも携われる所があるのではないかと、できる事があるなど、考えながら参加させて頂きました。
- ・話し合うプロセスの大切さ。本人、家族の思いに沿う、寄り添うこと。お話が難しい方とのコミュニケーションの取り方。在宅職として、本人、家族が医師や看護師に伝え切れなかったこと場合によって伝える等。
- ・患者様の話をよくきくこと
- ・これからの時代はコロナの事もあり在宅での見取りが増えると感じています。多職種との連携がとても大切であり今後は病院との連携や情報共有に意識を向けて仕事に活かしていきたいと思えます。
- ・話すこと、伝えること
- ・何か起きてから話し合うのではなく、日頃から他職種と情報共有することが大切だと感じました。今後の仕事で改めて意識していきたいです。
- ・対象者の希望に対して諦めるのではなくどうしたら叶えることができるかを考えながら援助していきたい
- ・最後まで在宅を希望している利用者があるので活かしていきたいと思えます。

⑩今日のオープンデスクカンファレンスに参加して明日からの仕事に生かせそうな点 参考になった点などあれば教えてください。

- ・在宅で看取りの人が増えてきているので、とても参考になり、緊迫感があり、集中して聴くことができる2時間でした。病院の方の退院への努力、在宅側の患者本人の痛みのコントロールが難しいなか、家族支援も大変寄り添ったもので感動しました。深い鎮静にする時の点滴の場面は、本当にドキドキしました。

⑪参加費の徴収方法について(該当者のみ)

21件の回答



問題なくできた	17
少々手間がかかった	4

⑫全体を通じ何か感想などありましたら、お聞かせください。

- ・実際勤務してみないとわからない状況が知れてよかったです。
- ・医療と在宅の連携を身近に感じる事ができ、今後の仕事に活かしたら良いと思いました
- ・短期間での看取りケアがスムーズに行えたこと、連携の重要性を改めて感じた
- ・最後に本輪西FC佐藤院長も述べていましたが、定期的にこのようなカンファレンスを行うことにより「顔が見える関係」で連携することができるのではないかと感じました。またこのような機会があればぜひ参加していきたいと思います。
- ・ZOOMでの研修会は現場との一体感も感じる事ができたとし、気軽に参加できたため本当に良かった。ZOOM研修の機会を今後も多く持っていただければ参加しやすい。
- ・また、機会があれば参加させてもらいたいと思います

⑫全体を通じ何か感想などありましたら、お聞かせください。

- ・今回の事例ではカンファレンスにも関わらず途中で込み上げてくるものがありました。医療、介護の世界は“これでよかったのか？”と常々考えさせられるものですが、この事例ではこのチームだったからこそここまで出来たのでは？とも思うほど感動しました。自分も少しでも近づけるようにならなければと思い知らされました。
- ・自分の母の最期の時と似ていて、自宅から参加ということもあり涙が出てしまいました。今回のご家族、ご本人、皆が納得し後悔のない最期でしたね。病院、訪問看護、皆様の連携が素晴らしいなと思いました！
- ・病院医療チーム（先生方や病院看護師さんら）の熱意を感じて、感動しました。その熱意を感じることができたから、在宅チームも一丸となれたのだと思うし、さらに、それに触れることができた利用者様やご家族様は、心から信頼できたのだと思います。素敵な時間を、共有できて、感謝します。ありがとうございました。
- ・普段聞くことのできない、病院医師、看護師、在宅支援看護師、訪問診療医師、訪問看護それぞれの立ち位置で支援している中での思いを聞ける事ができ、大変貴重な時間でした。ありがとうございました。
- ・家族を亡くしたものの立場で感想を言わせてもらえば、職業に関係なくその人の為に働きかけたりかかわってくれている事、何かしらの行動をとってくれている事、全力を尽くしてくれていることに感動しました。どうしたらよいかかわからない医療にかかわりのない一般人は本人が我慢をして、したいことも言えないでおり叶えてあげられないことに憤りを感じています。今回の事例の人のように沢山の人が本人と家族が願う事を叶えられる世の中になるといいと思います。
- ・定期的に参加させて頂きたい
- ・定例会当日まで準備が大変なこともありましたが他職種で連携し一つの会を作るということに参加させていただきよい経験になりました。顔の見える研修に参加できて良かったです。ありがとうございました。
- ・とても充実した研修企画だったと思います。今後の地域ケア支援には継続的していけるようなはたらきは必要であると思います。ネット環境が不安定で何度か途切れてしまいました。オンラインの参加はとても移動時間もなく、良い点もありますが、ネット環境により困難な状況もあります。ハイブリットの開催も検討していただけると時間的に可能であればリアルでの参加を考えたいと思います。

ワークライフバランスも必要なため、開始時間と終了時間を早めて頂けると、今後も負担なく参加できると思います。介護保険を利用した事例も聞いてみたいです。以前自分も現場で働いていた時に鎮静剤投与を家族に泣きながら「お願いします」と頼まれた時の辛さや看護師として対応の仕方を思い

⑫全体を通じ何か感想などありましたら、お聞かせください。

- ・ワークライフバランスも必要なため、開始時間と終了時間を早めて頂けると、今後も負担なく参加できると思います。介護保険を利用した事例も聞いてみたいです。以前自分も現場で働いていた時に鎮静剤投与を家族に泣きながら「お願いします」と頼まれた時の辛さや看護師として対応の仕方を思い出し、振り返るきっかけとなりました。ありがとうございました。
- ・ミニレクチャーが勉強になりました。3回ものリハーサルを繰り返し、準備に関わったみなさま大変お疲れさまでした。
- ・今回は、キーパーソンも若く、介護経験がある方というのも良かったとの事でしたが、受け入れ側が、在宅で看取りたいとの意思表示をした場合は、訪問看護やファミリークリニックの経験値で、今回のような方が増えてくるのではないかと思います。在宅の看取りのやその他の人の支援でも、皆さんと、連携して、利用者や家族に寄り添った支援ができるように努めたいと思います。亡くなった後の訪問もしていただいているようで、家族としては、語りたと思うので、気持ちの整理になると思われます。とても素晴らしい内容と企画の研修を開催していただきありがとうございました。

【担当幹事 西島 智恵】

【定例会の目的】

2013年より多職種での在宅ケア推進のために当団体は活動し、連携は深まってきましたが、病院と在宅の総合理解という意味ではまだまだ課題が多いのが現状です。今回は、卵巣がん末期の治療をし、退院した在宅死亡事例を、病院医師、看護師、在宅支援看護師、訪問診療医師、訪問看護師が入院中・退院後・看取りまでの経過について振り返り、終末期ケア・緩和ケアについて、また多職種連携に関して、自分が考えていなかった他者の意見を聞くことで考えを深め、グリーンケアや退院時のサービスをトピックスに取り上げ、用語集を事前に配布することで参加者の学びの促進を図った。

【タイムライン】

令和3年10月26日（火）

18；30-18；40 開会あいさつ、オープンデスクカンファレンス説明

18；40-19；25 病院での経過

19；25-19；55 在宅での経過

19；55-20；10 ミニレクチャー

20；10-22；20 質疑応答

20；10-20；30 シンポジスト感想、閉会挨拶

【参加者からの声】

- ・短期間での看取りケアがスムーズに行えたこと、連携の重要性を改めて感じた。
- ・定期的にこのようなカンファレンスを行うことにより「顔が見える関係」で連携することができるのではないかと感じました。またこのような機会があれば参加したいと思います。
- ・ZOOMの研修会は現場との一体感も感じることができ、気軽に参加でき本当に良かったです。ZOOM研修の機会を今後も多く持っていただければ参加しやすい。
- ・医療と在宅の連携を身近に感じることができ、今後の仕事に活かしたら良いと思いました。
- ・実際勤務してみないとわからない状況が知れてよかったです。
- ・今回の事例ではカンファレンスにも関わらず途中で込み上げてくるものがありました。医療、介護の世界は“これでよかったのか？”と常々考えさせられるものですが、この事例ではこのチームだったからこそここまで出来たのでは？とも思うほど感動しました。自分も少しでも近づけるようにならなければと思い知らされました。
- ・自分の母の最期の時と似ていて、自宅から参加ということもあり涙が出てしまいました。今回のご家族、ご本人、皆が納得し後悔のない最期でしたね。病院、訪問看護、皆様の連携が素晴らしいなと思いました！

・病院医療チーム（先生方や病院看護師さんら）の熱意を感じて、感動しました。その熱意を感じることができたから、在宅チームも一丸となれたのだと思うし、さらに、それに触れることができた利用者様やご家族様は、心から信頼できたのだと思います。素敵な時間を、共有できて、感謝します。ありがとうございました。

・普段聞くことのできない、病院医師、看護師、在宅支援看護師、訪問診療医師、訪問看護それぞれの立ち位置で支援している中での思いを聞ける事ができ、大変貴重な時間でした。ありがとうございました。

・家族を亡くしたものの立場で感想を言わせてもらえば、職業に関係なくその人の為に働きかけたりかかわってくれている事、何かしらの行動をとってくれている事、全力を尽くしてくれていることに感動しました。どうしたらよいかわからない医療にかかわりのない一般人は本人が我慢をして、したいことも言えないでおり叶えてあげられないことに憤りを感じています。今回の事例の人のように沢山の人が本人と家族が願う事を叶えられる世の中になるといいと思います。

・とても充実した研修企画だったと思います。今後の地域ケア支援には継続的に行けるようなはたらきは必要であると思います。ネット環境が不安定で何度か途切れてしまいました。オンラインの参加はとても移動時間もなく、良い点もありますが、ネット環境により困難な状況もあります。ハイブリットの開催も検討していただけると時間的に可能であればリアルでの参加を考えたいと思います。

・ミニレクチャーが勉強になりました。3回ものリハーサルを繰り返し、準備に関わったみなさま大変お疲れさまでした。

・今回は、キーパーソンも若く、介護経験がある方というのも良かったとの事でしたが、受け入れ側が、在宅で看取りたいとの意思表示をした場合は、訪問看護やファミリークリニックの経験値で、今回のような方が増えてくるのではないかと思います。在宅の看取りのやその他の人の支援でも、皆さんと、連携して、利用者や家族に寄り添った支援ができるように努めたいと思います。亡くなった後の訪問もしていただいているようで、家族としては、語りたと思うので、気持ちの整理になると思われます。とても素晴らしい内容と企画の研修を開催していただきありがとうございました。

【報告者からのまとめ】

多職種が治療やケアの振り返りを参加者で共有できた事や終末期ケア・緩和ケアが浸透する中、亡くなった患者の経過をかかわった病院や在宅スタッフ、また定例会参加者で振り返る意義は参加者の声からも明らかである。今後は同じ状況に直面した際に、スムーズな連携を地域全体で行い、利用者や家族に寄り添った支援ができるように、ケアの質を高め、地域全体で取り組んでいけるようにしていきたい。

第71回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ『令和4年診療報酬改定のポイント』

日時：3月11日(金) 18:30~20:00

開催方法：オンライン型研修(Zoomにてリモート開催)

参加申込：URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、申し込み。(別紙参照)

参加費：500円 ※定員に達した場合参加できない場合があります。

<内容>

18:30~18:35 開会：会長挨拶、講師紹介

18:35~19:35 講演「令和4年診療報酬改定のポイント」
北海道医療情報サービス 寺田 洋樹 様

19:35~20:00 交流会「近況を語ろう！」

20:00 閉会



今月のポイント！

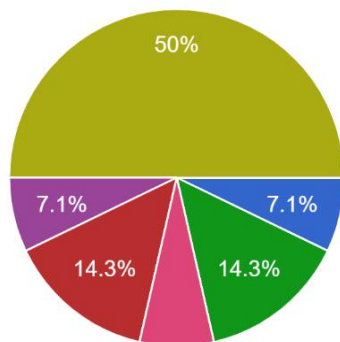
今年診療報酬改定の年！今回は4月に行われる診療報酬改定について、昨年の定例会にお越しいただいた北海道医療情報サービスの寺田様をお呼びしてご講演いただきます。また、講演の後には、「このコロナ禍で他事業所の方となかなかお話しする機会がない！」というお声を頂いたので、いくつかのグループに参加者を分けて、近況を語り合う場として活用いただこうと思っております。職種などを考慮したグループ分けと致しますので、ぜひ最後までご参加ください！

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

職種を教えてください。

14 件の回答



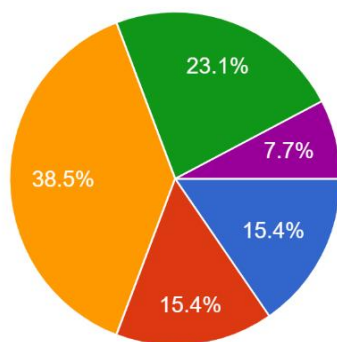
- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

薬剤師	7
看護師	2
OT	2
医師	1
栄養士	1
MSW	1

今回の研修会をどのように知りましたか？

13 件の回答

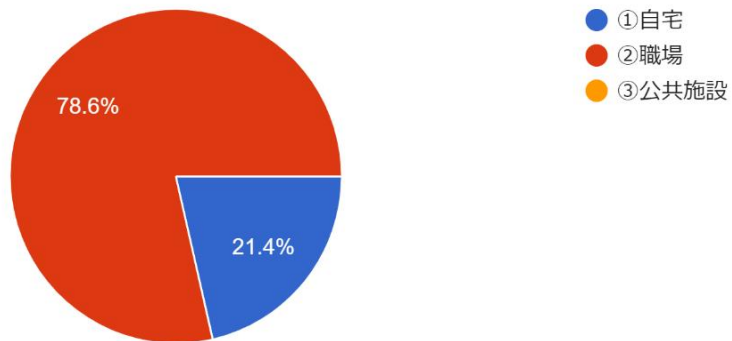


- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤室蘭薬剤師会HP

職場	5
職能団体から	3
広報ポスター	2
知人・友人	2
その他	1

今回の研修会にはどこで視聴(参加)しましたか？

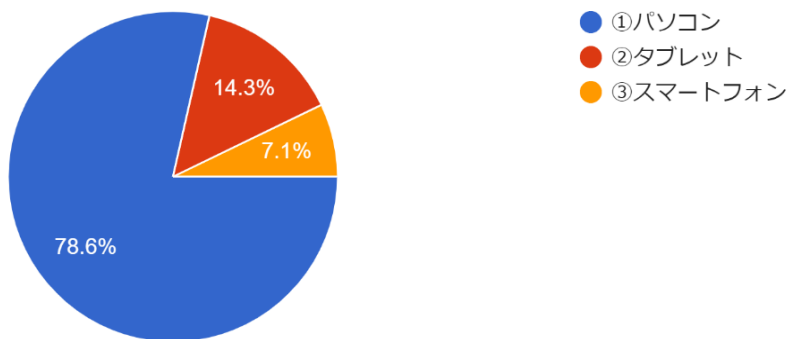
14件の回答



職場	11
自宅	3

どのようなデバイス(器機)を使用して参加しましたか？

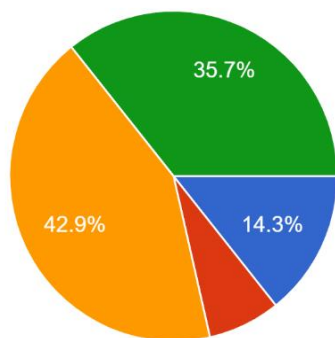
14件の回答



パソコン	11
タブレット	2
スマートフォン	1

オンライン研修・会議等への参加経験はありますか？

14件の回答

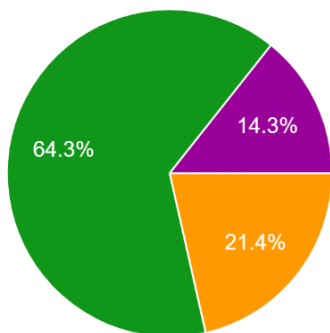


- ①はじめて
- ②2～4回目
- ③5回以上
- ④定期的に行っている

5回以上	6
定期的に行っている	5
はじめて	2
2～4回目	1

研修会の時間帯について希望する時間帯を下記からお選びください。

14件の回答

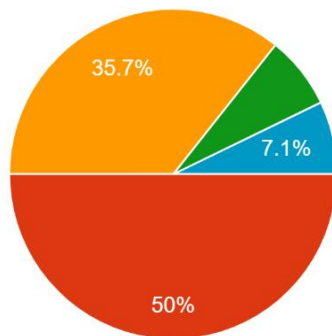


- ①17時～
- ②17時30分～
- ③18時～
- ④18時30分～
- ⑤19時～

18時30分～	9
18時～	3
19時～	2

研修会の終了時間について適切だと思う時間帯を下記からお選びください。

14件の回答

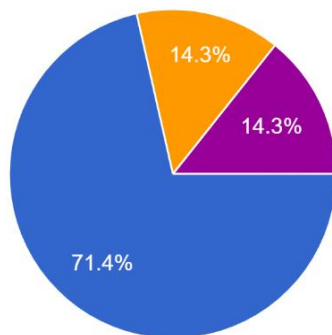


- ①19時00分
- ②19時30分
- ③20時00分
- ④20時30分
- ⑤21時00分
- ⑥どの時間帯でもかまわない

19時30分	7
20時00分	5
20時30分	1
どの時間帯でも構わない	1

オンライン研修会の参加しやすさについて伺います。(通常の研修と比べて)

14件の回答

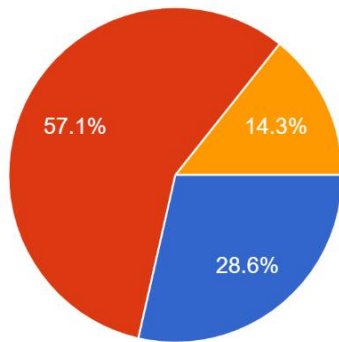


- ①参加しやすい
- ②参加しにくい
- ③どちらも参加しやすい
- ④どちらも参加しにくい
- ⑤どちらとも言えない

参加しやすい	10
どちらも参加しやすい	2
どちらとも言えない	2

講演「診療報酬改定のポイント」の内容について

14件の回答

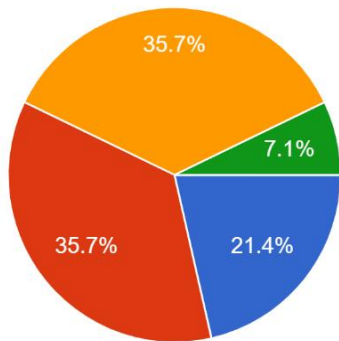


- ①大変良かった
- ②良かった
- ③普通
- ④やや悪かった
- ⑤悪かった

良かった	8
大変良かった	4
普通	2

交流会について

14件の回答



- ①大変良かった
- ②良かった
- ③普通
- ④やや悪かった
- ⑤悪かった

良かった	5
普通	5
大変良かった	3
やや悪かった	1

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・他職種の方との交流も期待していたので、他の職種の方のお話も聞きたかったです。
- ・診療報酬改定ポイント、交流会は参考になりました。
- ・課題なく、職種ごとにざっくばらんに話せて良かったです。

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・久しぶりの参加でした。来年度は積極的に参加させて頂こうと思います
- ・多職種ということですが、同じ職種で近況報告だと思えます。他職種の方のお話も頂戴したいと思えました。どのような事を求めているのか、是非自分に足りない部分の気づきにしたいと思えます。もちろん同じ職種は非常に話しやすいです。
- ・交流会はせっかくなので、他職種の方を混ぜて頂けると良いと思えました。
- ・対面で早くやりたいですね
- ・なかなか調剤報酬改定以外の情報が分からないので、そういったことを知ることができて良かった。特に診療報酬・調剤報酬どちらも居宅を進める方向であることが分かり、今後も力を入れて進めていく必要があると感じた。薬局同士でも似た悩みや進まない部分があり、地域として解消できるようなものを考えていきたい。同じ職種だけでなく、少し多職種とも交流やグループワークなどの時間があると、明日からの業務にもっと繋がるのではないかと思いました。

【担当幹事】 篠原 歩

【今回の目的】

令和4年度の診療報酬改定のポイントを知ってもらう事とコロナ禍でなかなか行えない情報交換をしてもらう事を目的に、～令和4年度診療報酬改定のポイント～と題し、昨年の定例会でご講演頂いた北海道医療情報サービスの寺田様を講師にお招きし、診療報酬改定についてお話し頂きました。また、情報交換の場としては、「近況を語ろう！」と題して交流会を企画し、いくつかのグループに参加者を分けて、近況を語り合う場の設定をしました。

【タイムライン】

令和4年3月11日（金）

18：30～18：35 開会・会長挨拶、講師紹介

18：35～19：35 講演「令和4年診療報酬改定のポイント」

北海道医療情報サービス 寺田 洋樹 様

19：35～20：00 交流会「近況を語ろう！」

20：00 閉会

【参加者からの声】

- ・診療報酬改定ポイント、交流会は参考になりました。
- ・久しぶりの参加でした。来年度は積極的に参加させていただこうと思います。
- ・対面で早くやりたいですね。
- ・なかなか調剤報酬改定以外の情報が分からないので、そう言ったことを知ることができて良かった。特に診療報酬・調剤報酬どちらも居宅を進める方向であることが分かり、今後も力を入れて進めていく必要があると感じた。薬局同士でも似た悩みや進まない部分もあり、地域として解消できるようなものを考えていきたい。同じ職種だけでなく、少し多職種とも交流やグループワークの時間があると、明日からの業務にもっと繋がるのではないかと思います。
- ・多職種ということですが、同じ職種で近況広告だと思います。他職種の方のお話も頂戴したいと思いました。どのような事を求めているのか、是非自分に足りない部分の気づきにしたいと思います。もちろん、同じ職種は非常に話しやすいです。

- ・課題なく、職種ごとにざくばらんに話せて良かったです。
- ・交流会はせっかくなので、他職種の方を混ぜていただくと良いと思いました。
- ・他職種の方との交流も期待していたので、他職種の方のお話も聞きたかったです。

【報告者からのまとめ】

参加者は37名でオンライン開催にも関わらず、一定程度の人数の方々にご参加をしていただくことができ、今後もオンライン開催で行っていけると再確認ができた研修でもありました。講演内容については、診療報酬改定ということで診療報酬に関わるのが少ない参加者によっては難しい内容ではあったかもしれませんが、訪問看護など在宅サービスに関するもの等、身近に関わるものもあり、診療報酬改定の内容としては、詳細でかつベストなものでとても勉強になる講演会でした。交流会については、各グループでコロナの話題や地域のリソースに関する情報交換、さらには自分の業務の次に繋がる内容等と多岐にわたり、盛り上がったディスカッションとなり、場の設定としては良かったと思います。しかし、時間が足りなかった印象でもあり、かつ今回は同職種におけるグルーピングでしたので、次回の企画案としては、交流会単独の企画は難しいものの、事例検討やミニレクチャーにおいて、付带的に他職種を交えてのグルーピングにする等の交流会を行うことも良いのではと思いました。